

## 【海わたる うたの風 ～時をこえ 心をつなぐ～ コンサート開催】

5月23日、佐賀県伊万里市において、「海わたる うたの風 ～時をこえ 心をつなぐ～コンサート」が開催され、久米島町から「久米島球美コーラル楽笑部」や久米島出身の照屋マリ江さんが参加しました。本コンサートは、伊万里市・久米島町・佐賀大学による包括連携協定「OTEC-Link」10周年記念事業の一環として実施されました。

今回の音楽交流の背景には、久米島と佐賀の間で長年育まれてきた人と人のご縁があります。明治36年の硫黄島噴火の際、当時の郡長として島民の避難・移住に尽力した11代齋藤用之助氏の功績は、今も久米島で語り継がれています。その後、14代齋藤用之助氏の尽力により、佐賀と久米島の交流は中学生交流などへ発展し、地域間の絆が育まれてきました。

こうした縁の中で、クワイヤ・ワッカー代表の和嶋静代氏が久米島を訪れ、球美コーラル楽笑部代表の糸数真由美氏と出会ったことをきっかけに音楽交流が始まりま

した。昨年久米島で開催された「うたごえコンサート」を経て、今回、伊万里市での再会が実現しました。

当日は、600人収容の会場が満席となり、立ち見が出るほどの盛況の中、出演者と来場者が歌声を通して心を通わせ、会場が一体となる温かな時間となりました。また、安里友希さんも手話通訳として交流を支え、歌だけではなく想いを伝え合う架け橋となりました。

今回のコンサートは、民間主体で育まれてきた交流と、OTEC-Link10周年という節目が重なり実現した取組です。行政・大学・住民がそれぞれの立場で支え合いながら生まれたこの交流は、地域や世代を超えた新たなつながりを感じさせる機会となりました。

今回のコンサートで生まれた交流は、7月19日に開催される「海とエネルギーの未来フォーラムin伊万里」へとつながります。久米島町も参加し、講演や共同物産展を通して、本町の取組や魅力を発信します。



### 【教育長コメント】

「海洋温度差発電の研究をきっかけに始まった交流が、今では歌声を通じて人と人を結ぶ交流へと広がっています。今回のコンサートを通して、将来を担う子どもたちも含め、地域や世代を超えた新たなつながりが生まれていることを大変うれしく思います。今後もこの絆を大切に育んでいきたいと思っています。」

#### 球美コーラル楽笑部

久米島で佐賀との合同合唱コンサートを開催するために2024年9月に結成。

### 【OTEC-Link (オテック・リンク) とは】

久米島町、佐賀県伊万里市、佐賀大学の3者が、海洋温度差発電 (OTEC) の研究開発や利活用、地域活性化を目的として平成28年に締結した連携協定です。

「OTEC」は海洋温度差発電、「Link」は連携やつながりを意味します。海洋エネルギーの研究をきっかけに始まった取組は、現在では子どもたちの交流授業、物産交流、文化交流などへ発展しており、地域と地域、人と人を結ぶ取組として10年間にわたり交流が続けられています。